東京ドームシティ
PRESS INFORMATION

2014年4月10日

報道関係各位

株式会社東京ドーム

～いろいろな視点から心地よく楽しむ「宇宙」との出会い～

宇宙ミュージアム『TeNQ（テンキュー）』

東京ドームシティに2014年7月8日（火）オープン！

～エリア情報・料金・営業時間の詳細が決定！～

2014年7月8日（火）、東京ドームシティ（文京区後楽1－3－61）の玄関口である「黄色いビル」に、いろいろな視点から心地よく宇宙を楽しめる施設、**宇宙ミュージアム『TeNQ（テンキュー）』**がオープンします。

宇宙ミュージアム『TeNQ』は楽しみながら、知識を深めることができる9つのエリアから構成されており、各エリアで新しい宇宙との出会いをお楽しみいただくことができます。

この度、エリア情報・営業時間・料金などの詳細が決定しました。詳細は下記の通りです。

★施設概要

◎名　　称：宇宙ミュージアム
『TeNQ（テンキュー）』

テンキュー TeNQ 宇宙ミュージアム

◎所 在 地：東京都文京区後楽1－3－61
東京ドームシティ内　黄色いビル6F

◎開 業 日：2014年7月8日（火）

◎施設面積：約2,600㎡

◎施設構成：シアター宙（ソラ）、サイエンス、はじまりの部屋、イマジネーション、など　全9エリア
※詳細は次ページ以降

◎営業時間：【平日】　11：00 ～ 21：00
【土日祝・特定日】　10：00 ～ 21：00
※最終入館時刻は、20：00
※年中無休
※特定日はGWおよび春夏冬休み、など

◎料　　金：

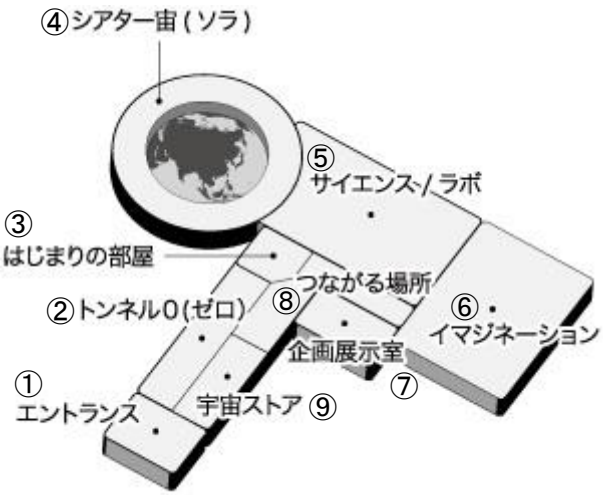
	通常料金	年間パスポート ※販売枚数限定
一般	1,800円	3,600円
大学生/高校生/専門学校生	1,500円	3,000円
中学生/小学生/未就学児（4歳以上）	1,200円	2,400円
シニア（65歳以上）	1,200円	2,400円

※音響、照明、暗転などの演出があるため、4歳未満は入館をお断りします。

☆施設内容

TeNQは、幅広い可能性を持ちながら、捉えにくかった宇宙を「感動」を通じて、自分の身近なものとして心地よく楽しめるように構成されたエンタテインメント・ミュージアムです。

全部で9つあるエリアは、入館者の心の動きを意識したマインドストーリーのもとに構成されており、それら全てを体験していただくことで、ひと繋ぎのエンタテインメントとしてお楽しみいただけるような仕掛けが施されています。大型円形高解像度シアター「シアター宙（ソラ）」では、宇宙を感じる壮大な映像を観ることができ、お客様はここで施設一番の感動をお楽しみいただけます。



①エントランス
②トンネル0（ゼロ）
③はじまりの部屋
④シアター宙（ソラ）
⑤サイエンス（ラボ含む）
⑥イマジネーション
⑦企画展示室
⑧つながる場所
⑨TeNQ宇宙ストア

①エントランス／②トンネル0（ゼロ）

お客様をお迎えする「エントランス」は、宇宙を前面に出すことなく、日常の中に宇宙の要素が溶け込んだ空間になっています。ナチュラルテイストなインテリアの中に、宇宙関連書籍や地球儀、模型などがディスプレイされ、宇宙への興味をかき立てます。

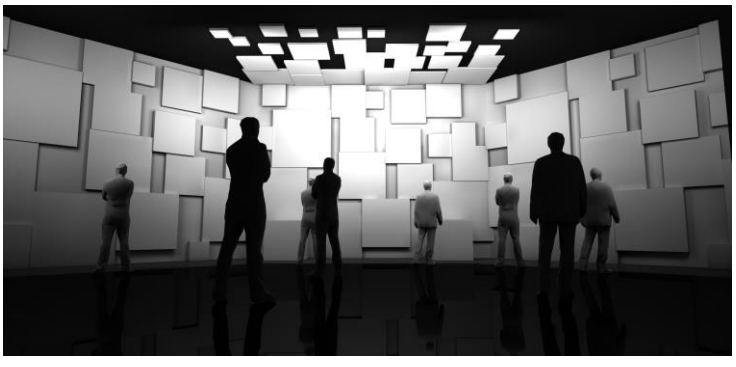
エントランスの奥には、心のリセットをはかり、次への期待を高める「トンネル0（ゼロ）」の入口がお客様を待ち構えています。

そのトンネルを進み、メインエリアのスタート「はじまりの部屋」へ向かいます。

③はじまりの部屋　～壁3面に最新のプロジェクション・マッピングの技術を使用～

トンネルを抜けると、白いキューブに囲まれた部屋に到着。ここでは、最新のプロジェクション・マッピングの技術を使用し、古代から現在に至るまでの「宇宙」の流れを部屋全体で表現します。

白いキューブには、宇宙への憧れ、挑戦といった人間の宇宙への想いが記憶されています。



④シアター宙（ソラ） ～4K超の高精細・直径11m 迫力の大型円形高解像度シアター～

当施設の目玉である「シアター宙（ソラ）」は、直径11mの穴が開いた独特な形状で、宇宙から地球や惑星を「見下ろす」視点を取り入れています。映像は、4K超の高精細で作成され、地球をはじめとする惑星や、ハワイ島のマウナロア山で撮影した星空が流れます。また、実際にISS（国際宇宙ステーション）から見下ろした地球の実写もお楽しみいただけます。

一度にご案内する人数は最大70名となっており、全員が最前列でお楽しみいただけるのも特徴の1つです。宇宙空間をみんなで「囲み」、「覗き込む」視聴スタイルは、足元にまで流れ込む映像の臨場感や浮遊感の演出効果を最大限に引き立て、宇宙の美しさ、雄大さを演出し、施設一番の感動を味わうことができます。

⑤サイエンス ～東京大学総合研究博物館との産学連携プロジェクト～

協力：東京大学総合研究博物館 宮本英昭准教授

東京大学総合研究博物館との連携により開設される、太陽系博物学寄附研究部門の研究室分室である「ラボ」を設置します。実際に研究現場で行なわれている太陽系探査の最先端を入館者に「魅せ」、新たなサイエンス・コミュニケーションを生み出します。ラボでの研究成果を様々な展示手法で表現しているため、楽しみながら研究現場に触れることができるエリアとなっています。

宮本 英昭／Hideaki Miyamoto
東京大学総合研究博物館 准教授

1995年東京大学理学部卒、2000年博士（理学・東京大学）取得。東京大学大学院工学系研究科助手、アリゾナ大学月惑星研究所客員研究員を経て、2006年より東京大学総合研究博物館助教授（2007年より准教授）。米国惑星科学研究所連携研究員。Science 誌や Nature 誌など、専門誌への論文掲載多数。主要業績は、小惑星上の地滑りの発見や火星の最新の流水地形の発見など。

⑥イマジネーション　～遊びながら想像し、より身近に宇宙を楽しむエリア～

　球体ロボットをラジコンカーのように操作してロケット発射台へのコースを競う「アストロボール」をはじめ、参加型で操作性のある遊びコンテンツや、アートの展示、ゆったりと映像を眺めながら休めるレストスペースなどを提供します。
　宇宙から想像をかきたてられて生まれたコンテンツの数々を楽しめる、バラエティに富んだエリアです。

⑦企画展示室

　宇宙に関連するタイムリーなトピックスなどを、TeNQならではの新しい切口で展開する企画展を実施します。3～4ヶ月に1回程度の頻度で、内容を更新していきます。

⑧つながる場所／⑨TeNQ宇宙ストア

　終盤の「つながる場所」は、TeNQで生まれた好奇心やわくわく感を記憶に定着させ、何度も来たくなるような余韻を味わえる場所となっています。
　宇宙の興味や探求に関わるコトバを集め、流星のように表現する「コトバリウム」や、月面の映像に自分の足跡を記録する「私の足跡」、宇宙飛行士になれたり、月に座ったりとユーモアあふれる写真が撮れるフォトスポットなどで構成します。
　また、「TeNQ宇宙ストア」では、オリジナルグッズをはじめ、様々な宇宙とつながるグッズを取り揃えます。

お客様からのお問い合わせ先
東京ドームシティわくわくダイヤル TEL. 03－5800－9999